

事業所自己評価

事業所名：LITALICOジュニア 新大阪 教室

サービス：保育所等訪問支援

評価実施日：2025/03/13

担当者：澤田和幸・桐原彩・岡本万里奈・勝山佳菜

事業所内分析

事業所の強み

- ・訪問支援専従のスタッフを配置していること
- ・大阪府、兵庫県と、広範囲で訪問支援を提供していること
- ・ケースに対して、担当の児発管と訪問員を設けており、児発管と訪問員が密に連絡を取り合っていること
- ・LITALICOジュニアの他教室との連携を密に行っていること
- ・訪問支援専従スタッフへの研修が準備されていること
- ・保護者さま・訪問先さまの双方の思いを大切にすることを意識していること

事業所の弱み

- ・訪問先の場所によっては、距離の都合で訪問できないことがある
- ・営業日が平日であり、土曜日曜の面談・ご相談希望に、添いきれないことがある

分析・検討結果

工夫していることや意識的に行っている取組等

- ・大阪市内において訪問を通して多くの幼稚園、保育園、学校様と関わりを持っていて、市内の情報などが集まりやすいため、従業員同士の共有機会を定期的にとれている。
- ・関わるケースが多いため、お子さん、訪問先への多様な関わり手段を身につけている。
- ・児発管と訪問員が、会議録やチャットなど様々な手段で情報共有を丁寧に行っている。
- ・保護者さま、訪問先さまの思いや願いを丁寧に伺うよう努めている。

事業所として考えている課題の要因等

- ・提供できるエリア限りがあることで、希望に親御様の希望に対して沿うことが出来ない機会が今後増えていく可能性がある
- ・土曜日曜しかご連絡が取りづらい、共働きのご家庭と、支援や相談の共有が十分にできない可能性がある

改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等

- ・引き続き、各ユニット・チームごとに定期的な会議の機会を設けて、情報や知識の共有に努めていく。
- ・保護者さまとの面談の機会を活用し、支援のご希望や現状のご報告を行っていく。
- ・訪問先さまのご都合を伺いながら、双方負担のない方法で連携をとれるように図っていく。

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

- ・サービス提供エリアの拡充に向けて、現在訪問できていない地域へ情報の取得や、従業員の確保などに努めていく
- ・ケース経験を通して得た知識やスキルは社内で学びの機会を通して常に質の向上に努める
- ・スタッフの働き方を第一に考えたうえで、必要性や緊急度に応じて、シフトの調整を行う。